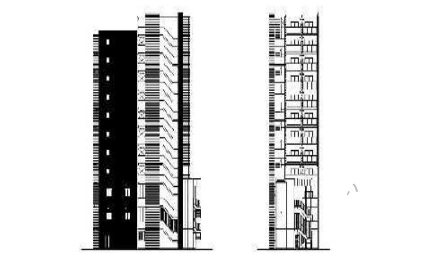
CASBEE名古屋 評価結果

■使用評価マニュアル： CASBEE-建築(新築)2016年版、名古屋市建築物環境配慮制度運用マニュアル2016 ｜使用評価ソフト： CASBEE_Nagoya_2016(v3.0)

1-1 建物概要

建物名称	株式会社エムケー不動産様 事務所付共同住宅新築工事	階数	地上12F
建設地	名古屋市中区丸の内一丁目617	構造	RC造
用途地域	防火地域	平均居住人員	50 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年（想定値）
建物用途	事務所,集合住宅,	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2027年3月 予定	評価の実施日	2024年2月1日
敷地面積	339 ㎡	作成者	
建築面積	210 ㎡	確認日	2024年2月6日
延床面積	2,027 ㎡	確認者	

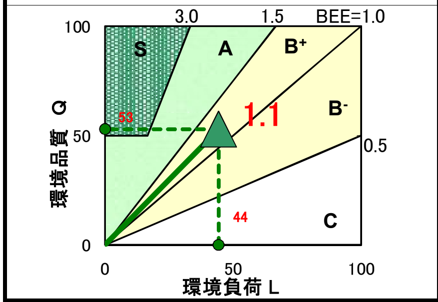
1-2 外観



2-1 建築物の環境効率（BEEランク&チャート）

BEE = 1.1 ★★★☆☆

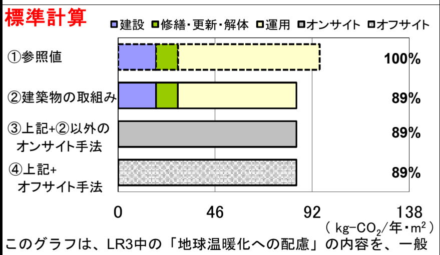
S: ★★★★★ A: ★★★★ B+: ★★★ B-: ★★ C: ★



2-2 ライフサイクルCO_2（温暖化影響チャート）

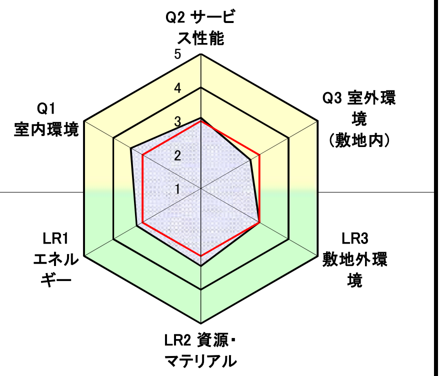
☆☆☆☆☆

30%: ☆☆☆☆☆ 60%: ☆☆☆☆ 80%: ☆☆☆ 100%: ☆☆ 100%超: ☆



このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物（参照値）と比べたライフサイクルCO2 排出量の目安で示したものです

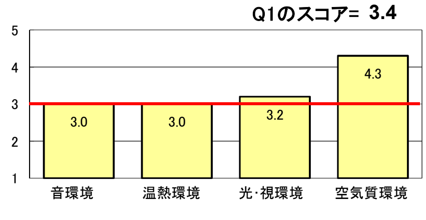
2-3 大項目の評価（レーダーチャート）



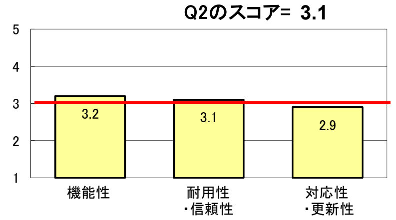
2-4 中項目の評価（バーチャート）

Q 環境品質　　Q のスコア= 3.1

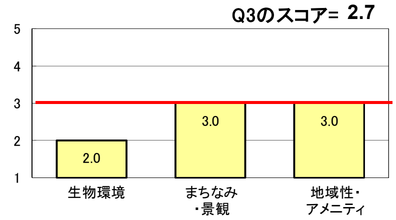
Q1 室内環境　Q1のスコア= 3.4



Q2 サービス性能　Q2のスコア= 3.1

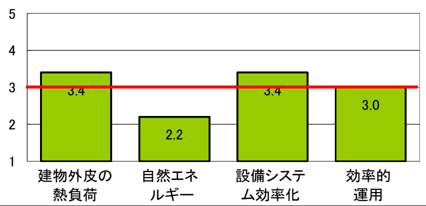


Q3 室外環境（敷地内）　Q3のスコア= 2.7

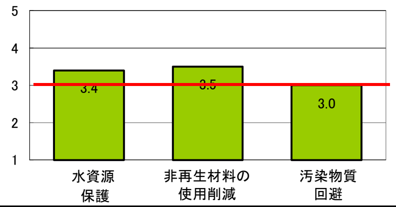


LR 環境負荷低減性　　LR のスコア= 3.2

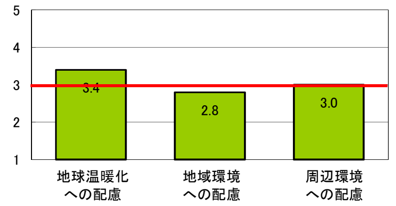
LR1 エネルギー　LR1のスコア= 3.2



LR2 資源・マテリアル　LR2のスコア= 3.3



LR3 敷地外環境　LR3のスコア=3.0



3 設計上の配慮事項

総合	その他
緑化の採用、節湯器具、節水型トイレ採用し、省エネルギー環境に配慮した。	●特になし。

Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境（敷地内）
●シックハウス対策としてＦ☆☆☆☆を全面的に採用。節水型トイレ、エネファーム、節湯器具を採用。	●インターネットにはNURO光を採用し、空調･衛生配管にはポリエチレン管、耐火二層管を採用。	●できる限り緑化採用に配慮した。

LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
●省エネルギー設備に配慮した。	●ハロン消火剤を使用せず、地球温暖化に配慮した。	●屋上広告を一切なくし、光害対策に配慮した。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency（建築環境総合性能評価システム）
■Q: Quality（建築物の環境品質）、L: Load（建築物の環境負荷）、LR: Load Reduction（建築物の環境負荷低減性）、BEE: Built Environment Efficiency（建築物の環境効率）
■「ライフサイクルCO_2」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

CASBEE®名古屋 評価結果

重点項目スコア・結果シート

株式会社エムケー不動産様 事務所付共同住宅新築工事

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版、名古屋市建築物環境配慮制度運用マニュアル

■評価ソフト: CASBEE_Nagoya_2016(v3.0)

重点項目			評価	全体に対する重み係数	重点項目スコア
1. 温暖化対策					3.2
LR1	エネルギー		3.2	0.4	
LR3.1	地球温暖化への配慮		3.4	0.1	
LR3.2.2	温熱環境悪化の改善		3.0	0.05	
2. 自然共生					2.3
Q3.1	生物環境の保全と創出		2.0	0.09	
Q3.3.1 Q3.2	地域性への配慮、快適性の向上 まちなみ・景観への配慮	地域性のある材料の使用※1	無	0.009	
Q3.3.2	敷地内温熱環境の向上		3.0	0.045	
3. 循環型社会					3.4
LR2.1	水資源保護		3.4	0.06	
LR2.2	非再生性資源の使用量削減		3.5	0.18	
LR3.2.3	地域インフラへの負荷抑制 ※2		2.7	0.01875	

結果

1. 温暖化対策

評価点 ＝ 3.2

2. 自然共生

評価点 ＝ 2.3

3. 循環型社会

評価点 ＝ 3.4

重点項目のスコアは以下のように算出している。

$$重点項目スコア＝\frac{(評価点×全体に対する重み)の総和}{全体に対する重みの総和}$$

※1 ここでは、Q3．3．1の評価する取組みのうち評価項目 Ⅰ 2)地域性のある材料の使用 又は、Q3．2において評価する取組みのうち評価項目 4)地域性のある素材による良好な景観形成 のいずれかでポイントがある場合は「有」、ない場合は「無」を評価とした。重点項目スコアの算出における評価点は評価「有」の場合は5、「無」の場合は1とし、重みはQ3．3．1の全体に対する重みに0．2を乗じたものとしている。

※2 ここでは、LR3．2．3のうち、LR3．2．3．3 交通負荷抑制 を除いたもので評価点及び全体に対する重み係数を算出している。したがって、ここでの評価点はスコアシートにおけるLR3．2．3の評価点とは異なるものである。